

## 令和3年度第1回 岡山県自立支援協議会 就労支援部会 議事概要（要旨）

日時 令和3年7月2日（金）14:00～15:55

場所 きらめきプラザ 401会議室

### 議題1 岡山県内の工賃等の状況等について

- ・工賃は事業所の特性に依存すると思う。単価の高い業務と安い業務を整理し、積極的に単価を上げることを考えているか。
- ・具体的な整理まではしていないが、情報収集はしている。研修会など何らかの方法で反映できればと考えている。
- ・今年度、報酬体系が変わった。中長期的な視線に立てば、事業所を運営するに当たりどの報酬体系を選択するかは大切なことと考えている。
- ・企業との接点を増やして事業所の特性を理解してもらい、中長期的に双方にメリットがあるような着地点を探しながら就職率と受注額の底上げ図っていくのが良い。
- ・県庁の優先調達は、部署によって温度差がある。
- ・部署による温度差解消に向け、今年はPRに力を入れていく。その一環として、先日、セルフセンターにポスターやパンフレットを作成してもらった。
- ・農福連携サポートセンターは、障害福祉課、農産課の委託を受けて研修会、事例紹介、体験会等の事業をしている。何なりと相談してほしい。
- ・工賃向上計画は、職員みんなで作成することで、作業の目標が明確になるので、作成することが大切だ。
- ・B型事業所の減収は、コロナの影響が大きく、出張販売や施設外就労ができなくなったと聞く。また、精神障害の人がコロナで不安になり出勤できなくなったことが、平均工賃が下がった一因とも聞く。今年度もコロナの影響は免れないので、どう乗り切るのかが課題。

### 議題2 第4期岡山県障害のある人の自立に向けた所得向上計画(案)の策定について

- ・研修会、販路拡大、マッチングに力を入れてほしい。
- ・今年度になって既に3ヶ月経過しているが、策定のタイミングは毎回この時期か。
- ・国の指針が示されたのが3月ということもあり、毎回この時期に策定している。
- ・事前アンケートを実施しているが、計画に反映させているのか。
- ・計画はこと細かく記載するものではないのでわかりにくいですが、その趣旨を反

映させている。

- ・農産課としては、農福連携サポートセンターと協力し、農福連携を推進していきたい。
- ・計画では目標工賃の時間額を参考としているが、障害の特性から月に数日しか利用できない者、短時間しか利用できない者がいると、月額で算定した場合平均工賃が低くなるので、時間額の目標は必要である。
- ・時間給でしか管理できない事業所もあるはずなので、研究してみたい。
- ・知的障害の人が多い事業所では、1日勤務する人が多い上、その年の収益に応じてボーナス等を支払うこともあり、月額を利用することが多いのではないかな。
- ・計画に定着支援の記載があるが大切なことである。定着実績ができれば企業も障害者雇用を考えてくれる。

### 議題3 その他

- ・人材育成は重要なので、コロナ収束後の数年後を見据えて、小さな所から大きな所までを対象にした研修を実施してほしい。
- ・リモートでは伝わらないこともあるので、コロナが収束したら対面での研修を実施してほしい。
- ・この作業ができるからこの仕事というのではなく、「障害者も何かしたいことがある」との発想していくような取組が必要と考えている。
- ・新報酬体系の採用を含め、個々の事業所が地域への貢献をどのように行っていくかが課題であることを行政には伝えておきたい。